

青少年育成推進協議会だより

歌の旅 パート9

会長 鈴木 暉

今年、2019年は童謡が作られて100年に当たるそうです。

もちろん、遠い昔にも自然発生的な「わらべ唄」はあったに違いありません。「うしろの正面だーれ」、「通りゃんせ」などはその代表格でしょうか。明治になって欧米の民謡等に歌詞をつけて教材にしましたが、1911年ごろから「故郷」、「朧月夜」、「春の小川」（何れも作詞は高野辰之、作曲は岡野貞一）など小学校唱歌が作られました。しかし、作者の名は伏せられていました。それが公になったのはなんと昭和50年代の半ばとか。

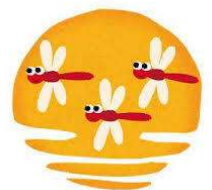
1918年（大正7年）、鈴木三重吉がお堅い教訓的な歌詞が子どもの感情にそぐわないと考え童話・童謡誌「赤い鳥」を刊行しました。この年の11月号に発表された童謡が西城八十の「かなりや」でした。翌年5月号に成田為三が曲を付けて発表しました。その翌年にレコード化されて広く歌われたのが「唄を忘れたカナリヤは〜」という童謡が事の始まりで、ここから起算すると今年で100年という事になるのだそうです。

それからは西城八十のほか野口雨情、北原白秋等の詩に成田為三、本居長世、弘田龍太郎、山田耕柝等によって今に残る素晴らしい曲がたくさん生まれました。

つまり、最初は童謡とは詩だけが発表され、その後に作曲家が曲を付けたということになります。その典型的な例があつた「赤とんぼ」でしょうか。三木露風が「赤とんぼ」を発表したのは大正10年、この童謡に山田耕柝が曲をつけたのは実に6年後の昭和2年で、しかも茅ヶ崎に住んでいた時、東京からの電車の中で構想を練って生まれたそうです。

けれども、「赤とんぼ」は長い間人に知られずにいました。昭和30年になって映画「ここに泉あり」で使われてから「あの歌はなんだ？」と一挙に有名になったのだそうです。この映画は終戦後の混乱期に民間で群馬交響楽団を創設し、資金も楽団員も乏しい中で悪戦苦闘するというストーリーで、耕柝さんもチョイ役で顔を出しています。

さて、何時ものことながら孫引き話が長くなりました。2月25日の北陽中学校スポーツ大会のカレーづくり、そして3月10日の委員研修をもって今年度の事業を終えました。このことは、小出地区の各種団体のお力添えがあればこそと厚く御礼を申し上げますとともに、委員各位の皆様のご努力の賜物と深く敬意を表します。ありがとうございました。



◎1年間お疲れさまでした。委員の皆さんからの感想の一部です

一年間お世話になり、ありがとうございました。子ども達のために、このような活動をしていただいていることを知り、この地区の温かさを感じうれしかったです。

地域の活動にいろいろ係らせていただき、とても楽しい一年間でした。

推進協議会の会議に出席できて、とても勉強になりました。いろいろな方の温かいお話しが聞くことができ、とてもよかったです。



ジャグラーKaNaTa さんの、ディアボロのすごい演技に、みんな大喜び最後にみんなではいチーズ(*^-^*)



こどもたちのパフォーマンスにも大拍手

今回も楽しいゲームがもりだくさん箱の中身は何だろな？ドキドキ♡



推進協まつり
子ども大会 10月20日
《遊ぶ・学ぶ・食べる》
小出小学校にて、賑やかに開催されました



ペットボトルのふた積み、なんこつめるかな？



いつも人気のストラックアウト。ボールメイツの子ども達もお手伝い。ありがとう！



社協、里山公園協議会、コミセン他、多くの地域の団体、小学生スタッフの皆さんのご協力に感謝。

委員研修1 早春の湯河原を訪ねて

最初に訪れたのは、千歳川沿いに佇む旧老舗旅館の赤レンガの洋館を湯の町の美術館にしたもので、中には湯河原にゆかりの画家の作品が数多く展示されていました。名誉館長である平松礼二氏のアトリエもあり、多くの画材から作品の出来るまでつぶさに見ることができました。作品の中でも、紅白梅と日本の祈り(桜)に描かれた花びらの、ひとひらひとひらが何時迄も、目に焼き付いております。Y



まだまだ、肌寒い2月15日、委員研修で湯河原美術館へ行きました。庭には早咲きの桜。館内では平松礼二さんのすばらしい桜の絵画に、一足早く春を感じることができました。

昼食は、エクシブ湯河原マレッタにてゆったりとイタリアンをいただき、優雅なひと時。

午後からは、スイーツファクトリーちほりにて、アイシングクッキー作りの体験。おのおのが、すばらしい個性を発揮して世界で1つだけのクッキーを作りました(食べるのがもったいなーい!)おみやげも購入し大満足で研修を終えました。Y



アイシングクッキー作りに、みんな真剣
どんなデザインにしようかな…

委員研修2 謎がたくさん! 鎌倉大仏を訪ねて

3月10日 茅ヶ崎駅に集まりスタート。くもり空だったが、歩くのには良い一日だった。鎌倉駅からバスに乗り、大仏を通り過ぎ、「火の見下」下車。住宅の横を通り抜け大仏切通しを歩く。山肌を切り抜いて敵を待ち伏せ矢を放った岩穴を見上げ、敵馬を阻止した大きな岩に触れ、高徳院では、今まで通り過ぎていた石塔などの文字を読む。

見逃していた歴史のこまごま、え~そうだったのかと講師の説明に頷く。

歴史も、定説と違った見方もありなのだ! やっぱりロマン? おもしろ大発見が、たくさん見つかった。

鎌倉の道祖神を見て、小出のそれに思いを巡らす。

現存してない建物・様子を想像し、歴史ある美味しいお蕎麦屋さんで食し行列のできるパン屋さんでお土産を買う。鎌倉の過去・現在を楽しんだ一日になった。

毎年 身近な歴史を紹介してくださる

鴨志田元小出小学校教諭に、感謝。M



おめでとうございます

長年の推進協活動に今年 2 名の委員さんが、神奈川県青少年育成活動推進者表彰を受けました。

『感謝状いただきました』

小出地域の子供達に関わり始めたときはまだ「昭和」でした。

子ども会役員から始まり青少年指導員、推進協子ども広場担当…と 30 数余年がたっていました。コミセンがなかった時には、皆楽荘で子ども広場を開きました。道で会った子どもたちに、“皆楽荘のおばさん”と呼ばれたのが懐かしく思い出されます。みんな大きく巣立っていきました。

でも私だけは巣立てなく…推進協に関わらせていただける幸せを感じつつ、これからも推進協に席を置かせていただき、地域の子供達との接点を大切にしたいと思っています。感謝状をいただきましたが、反対に地域でこのように係らせていただけることを感謝しております。

芹沢東部 大谷みち子

『感謝状をいただいて』

「えーほんとうですか、25 年にもなるんですね」私の第一声です。驚きでした。推進協で、子供達の笑顔と一緒に過ごしたときが、そんなに経っていたなんて！あつという間だったように思います。

これからも、子供達の笑顔が見られるよう、自分のできるところで地域の皆さんと共に無理をせずお手伝いをしていけたらいいなあ…と考えています。

この度は、この様な賞をいただきありがとうございました。感謝いたします。

芹沢西部 齊藤里美



7月

コミセンまつり

コリントゲームと千本引きで参加
千本引きの箱は、大工さんが本業の委員さんが作ったんですよ
夜は光るおもちゃ販売が人気でした

12月

小出小学校餅つきお手伝い

4年生が作ったもち米で、子供達はつくのも食べるのも楽しみにしています。前年のお手伝いで気になっていた臼のへりと杵の先のささくれ。11月に補修に行ってきました。



10月

北陽中PTAバザーに参加

ペットボトルを切った中に、景品が入った輪投げに中学生の、行列ができました

しました（一部紹介）

推進協こんなこと

1月

里山公園たこあげ協力

推進協はこままわし、羽子板作りのお手伝い。羽根は小出小学校のむくろじで作ります。今年は悪天候でちょっと寂しい人出でした。

11月

レインボーフェスティバル出店

推進協といえば具たくさん豚汁、約 300 食無事完売！フリーマーケットにも参加しました



2月

中学生 3 年生卒業を祝うカレー作り
スポーツ大会後、お腹ペコペコの生徒さん。おかわりの大行列にうれしい悲鳴！北陽中の皆さんご卒業おめでとう